

令和5年9月28日
園長 今泉 早苗

例年にはない猛暑の中で 石岡大祭が開催されました🥰 朝晩の涼しさに やっと秋の始まりを感じられるようになった今日この頃です🍊 行事が盛りだくさんの二学期、みんなで元気に楽しく過ごしましょう！

🏠 始業式 お楽しみ会 (あさみ先生の手品)

🏠 倉庫完成

🗣️ 茂木健一郎氏講演



🍊 9月1日、始業式を行い二学期が始まりました。夏休みが終わっても真夏のような暑さが続きました。石岡大祭がこんな猛暑の中で行われるのは初めてのことで🍊 この異常気象はこれから先『当たり前』になってしまうのでしょうか。

9月前半は熱を出す園児が多かったです。病院での新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの検査は陰性の子がほとんどでした。園では、子どもたちが熱中症にならないように、水をたっぷり飲んでもらって、園庭で遊び時間を短くして、汗をかいたら着替えをして、保育室は冷房で涼しくしていました。その中で発熱は、夏の疲れや集団の感染も考えられますが、猛暑の中で部屋で過ごす時間が増えたことによる運動不足、暑さによる食欲減退の中で 子どもたちの体力が低下していることが一つの要因ではないかと思います。それに加え 3年間続いた新型コロナウイルス感染症のまん延で、外で遊ぶ時間が大きく減ったことも体力低下の原因であるのでしょうか。

これから訪れる10月は、過ごしやすい気候になります。体力を取り戻すためにも、園庭で思いっきり遊び、公園、芋ほり、みかん狩り…等に出かけて、子どもたちのワクワク、ドキドキ感を高めながら、五感を思いっきり使って、楽しく過ごしていきたいと思います。

そして大きなイベントとして、12月9日(土)に中央公民館大ホールで『はっぴょうかい』を開催します。子どもたちの一生懸命な姿をご覧になれる日を楽しみにしていきましょう😊

🍊 夏休みに先生たちは、更なる、より良い教育保育を目指して各々研修を受けました。私は『のびやかに生きる～子どもがいきいきと自分らしく成長するために～』というテーマの研修に参加してきました。

基調講演で脳科学者の茂木健一郎氏の話をお聴きしました。一番心に残ったことは、「家庭に『安全基地』があるかないかで子どもたちの人生が大きく変わる。わが子を見守ってくれる家庭に育つと、子どもに安心感が生まれ、生きることが楽しくなる。大切な人が見ていない行為は子どもにとって意味がない。自分を自分で愛するしかないナルシストになってしまう。そして個性ほど深いものはない。個性を受け止めてあげることが大切である。」という話でした。このことは幼稚園に置き換えることもできます。私たち教職員は子どもたちの『安全基地』となれるよう、個性を尊重し、一致団結して、保護者の皆さんと同じように見守っていきたく強く思いました。そして、10～15年後にAIが50%を占め、ペーパー試験の記憶力だけでは生き抜けない時代がやってきます。これからの子どもたちに求められるものは、自主性や回復力(レジリエンス)です。『安全基地』の中で、そのような たくましい力も育ていけるよう努めて参りますので、これからもご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます🍊